北海道議会議員

2024夏

小林ちよみ vol.4

道政だより

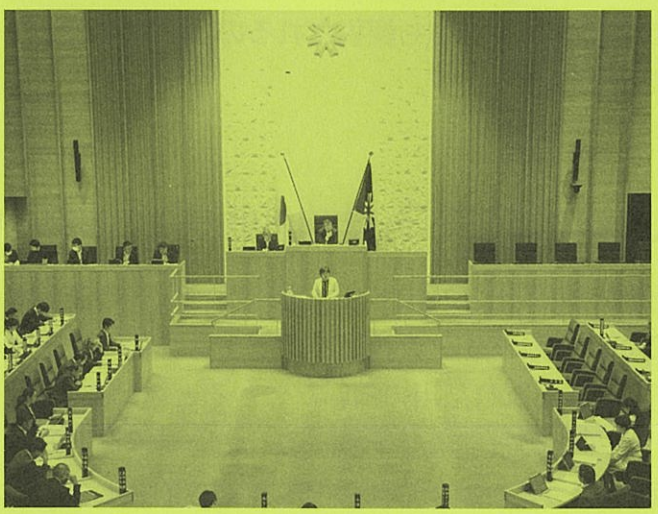


発行：小林ちよみ道政事務所　千歳市錦町２丁目23-1

●この道政だよりはポスティング、チラシ折り込み、郵送でお届けします。

宿泊税導入へ

７月５日最終日を迎えた道議会第２定例会で、知事は宿泊税の導入を表明しました。宿泊税は道内の宿泊施設に泊まる人が支払う税金。道内観光振興のための税金ですが道民が道内宿泊をするケースも多い北海道。2026年４月導入に向けて議論は本格化していきます。(詳細は裏面へ)



●そのほか今回決定された主なもの●

●災害・感染症医療業務従事に必要な資機材整備支援　３億４千万円

●北海道庁旧本庁舎（赤れんが）指定管理制度導入、入場料徴収　300円
(現在改修工事中、2025年夏リニューアルオープン時)

●認定こども園、保育所の保育士配置基準の変更

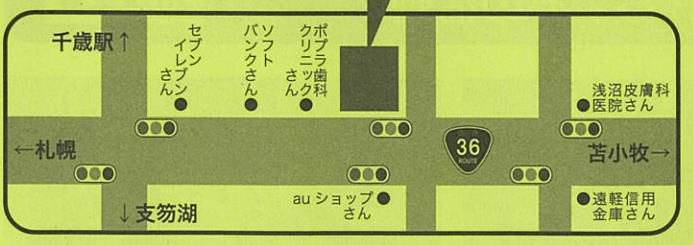
満３歳児
保育士一人につき20人（現行）
→15人（改正後）

満４歳児
保育士一人につき30人（現行）
→25人（改正後）

ちよみの考え

変更により、保育士の確保が必要になりますが、今でも保育士確保は至難の業。当面は今までの基準で運営することも認める経過措置の期間が設けられましたが、その期間は決まっておらず、現行通りの人数が続くこともあり得ます。改正は新しい一歩ですが、保育士確保のため、保育士の給料アップや処遇の改善などで保育士が働き続けられる環境づくりが必要です。

小林ちよみ道政事務所



●住所　〒066-0064　千歳市錦町２丁目23-1
●TEL　0123-21-9174　●FAX　0123-21-9176
●Mail　info@chiyomi.jp

お気軽にお立ち寄りください

道の宿泊税案（2026年４月開始を目標）と課題

対　　象	ホテルや旅館、民泊などの宿泊者
税　　額 （一人一泊当たり）	２万円未満　　100円 ２万～５万円未満　200円 ５万円以上　　500円
非 課 税	修学旅行などの学校行事
税収見込	年間およそ45億円
使　　途	●観光の高付加価値化 ●観光サービス、インフラの充実や強化 ●危機対応力の強化



宿泊税、千歳川の水質などについて質問



宿泊税は観光客だけでなく、ビジネス利用での宿泊などでも課税されます。道民が道内宿泊をすることも多く、その際に宿泊税を支払うことになります。また千歳市も独自の宿泊税の導入を考えており、千歳市内の宿泊施設に泊まる人は、道と千歳の宿泊税の両方を支払うことになります。千歳市以外にも札幌市、小樽市、釧路市などの自治体も導入を予定し、倶知安町ではすでに独自の宿泊税を開始しています。

千歳市の宿泊税は市内の観光振興に使われることになります。道の宿泊税は、広域自治体としての宿泊税と千歳市の宿泊税との役割分担をどのようにするのか、子どもも課税されるのか、税を取り扱う宿泊事業者の負担軽減など、導入に向けてまだまだ課題は残ります。

千歳川の鮭の遡上は大丈夫？

ラピダス工場の排水は千歳市の下水処理場を経て千歳川に放出されますが、実はラピダスの使う水は安平川の水。千歳川に安平川の水が約１％混ざることになります。これが鮭の遡上と回帰に影響が出るのではと、漁業関係者から疑問が出されています。鮭は生まれた川の匂いが分かると言いますが、匂いのもとはその川の持つアミノ酸の種類だそうで、安平川の水により千歳川の「匂い（アミノ酸）」に影響があるのか？ 鮭は大丈夫か？？ 今から水質調査を行うことが、道議会でも確認されました。

写真で見る小林ちよみの活動　2024年 春



教育予算の充実を求めて



千歳アイヌ協会の展示会



カクテル振興協会千歳発足